

## プレスリリース

2018年8月27日

### **世界最大規模のサッカーイベントでメディアリンクスの機材が活躍**

株式会社メディアリンクス（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長 ジョン・デイル 東証ジャスダック 6659 以下メディアリンクス）は、ロシアで今年開催された世界的に有名なサッカーイベントで利用する伝送技術として、メディアリンクスの製品・ソリューションが選ばれたことをお知らせします。

調査会社の Global Web Index によれば、このトーナメントは全期間にわたり、全世界の人口 76 億人の約半数に当たる合計 34 億人が視聴しており、史上最高の大会と呼ぶ人もいます。

このプロジェクトではメディアリンクスの MD8000 および MDP3020 の Media over IP 技術ソリューションが、全てのサッカースタジアムから国際放送センター（IBC）へ、そして IBC から世界中の配信拠点へ、4K および HD の映像コンテンツ伝送に利用されました。

各スタジアムからのカメラ信号は IP 化され、冗長化された光回線ファイバー経路を通して IBC へと伝送されました。伝送を確実にするために、動画およびデータの大部分は、メディアリンクスが誇る無瞬断伝送サービスを通して配信されました。いくつかの試合では、日本の大手国際放送局が IBC へ圧縮した 8K を伝送するのにも利用されました。さらに、メディアリンクスの映像伝送装置は、モスクワの赤の広場と IBC とを繋ぎ、さまざまな TV インタビューや映像の配信に対応しました。

国際放送センター（IBC）は、このスポーツイベントを放送している全ての国際メディア放送局に対する映像配信のセンターの役割を果たしました。IBC には全 64 試合において、メディアリンクス製機器 MD8000 と MDP3020 により直接、スタジアムからの映像が送られ、最終的に全世界の TV、インターネット、モバイル機器、ラジオに配信されました。

メディアリンクスの技術は、このサッカーイベントで、重要なイノベーションの一翼を担いました。これは、先進の動画によるプレイ再確認システム、ビデオ アシスタント レフリー（VAR）システムと呼ばれるもので、この新たな革新的アプローチは、レフリーの判定の正確性を高め、重要なプレイのファウルやペナルティから主観性を取り除くために設計されました。12 のスタジアムからの全てのカメラ映像は、メディアリンクスの映像伝送装置により大会本部のビデオ オペレーション ルームに送られました。各スタジアムのレフリーたちは、この VAR チームと連絡を取って自らの判定を確認し、できる限り正確な判定を行えるようにしました。それらの確認作業は全て、スローモーションによる動画再生の方法で行われました。

メディアリンクスの ProMD EMS 管理システム ソフトウェアは、各スタジアムから IBC に送られる全てのメディアフィードの状態を設定、監視するために利用されました。同様に、あらゆる IP 伝送ハードウェア、サービス、および IP ネットワークへの接続のトラブルシューティング管理にも使われました。

メディアリンクスは、戦略的パートナーであるヨーロッパのシステムインテグレーター、VIDI GmbH と密接に協力し、この大規模な技術インフラを実現しました。

**【VIDI について】**

VIDI は、業務用放送サービスの分野で 25 年以上の経験を持つ、世界的な独立系サービスプロバイダーです。同社の経験豊富なチームは、業界内で卓越した評判を確立してきました。VIDI は、放送技術と通信技術が合流する分野において、世界中のクライアントを支援しています。

<http://www.vidi.eu/>

**【株式会社メディアリンクスについて】**

メディアリンクスは、全世界の放送局や通信会社に、4K、HD / SD ビデオ、オーディオ、データなどを IP によって伝送する最先端技術を駆使した製品とソリューションを提供しています。2014 年には、JPEG2000 (J2K) 相互運用の標準化と製品化の貢献により、エミー賞を受賞しました。

<http://www.medialinks.co.jp/>

このリリースは、2018 年 8 月 23 日に米国で発信されたプレスリリースを日本語に翻訳したものです。

以 上

本件に関するお問い合わせ 株式会社メディアリンクス IR 広報室 044-589-3440